

武漢事務所週刊ニュース (2017.2.25-2017.3.4)

2017年2月25日

イタリアの国宝文物が武漢に展示される

昨日、「文明の海—古代エジプトからビザンチウムの地中海文明の展示会」が湖北省博物館の中で始まった。イタリアの約20館の博物館から、約500点以上の収蔵品が展示された。特にアポロンの彫像が数多くの観客を引き寄せた。



アポロンの彫像

2017年3月1日

武漢外資誘致の「一号工程」が全面的に起動

武漢市は昨日、今年度の外資誘致会議を開催し、今後5年間武漢外資誘致の主要目標を確立した。毎年外資誘致の実資金を平均15%ぐらい引き上げ、毎年新しく世界トップ500企業から10社以上、国家民営トップ500企業から12社以上、また大型中央企業の投資プロジェクトを20件以上導入する。さらに、各中心区で毎年少なくとも投資額が30億元以上の現代サービスプロジェクトを一件(単純な住宅開発プロジェクトを除く)、各開発区と新市内区は毎年投資額が50億元以上の工業プロジェクトを一件導入する。全市の累計では、投資額が100億元以上の産業項目を10件以上導入する。

会議は初の“武漢招商大使”に招聘状を授与した。それぞれ日本瑞穂銀行中国有限公司武漢支社、韓国大韓貿易投資振興公社武漢代表処、中国香港(地域)商会-武漢、PWC 会計士事務所武漢支所、オーストラリア貿易投資委員会武漢代表処首席代表の肖牧氏、米中合作委員会創始者の範波氏である。